



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO.20
(通巻179号)
平成31年(2019)
1月15日(火)

『年頭所感』

校長 飯野 博史

あけましておめでとうございます。穏やかな新年を迎えられたことと思います。本年も八中の教育活動充実のため教職員一同全力で取り組んで参ります。ご支援、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

毎年のことですが、元日に近くの江戸川の土手に上がり初光を拝みました。穏やかな天候だったこともあり、すでにたくさんの人たちが初日の出を待っていました。柴又帝釈天へ向かい、八中のさらなる発展と3年生全員の進路決定を祈願してきました。

■後期後半が順調にスタートして1週間が経過しました。卒業式、修了式までの授業日数を調べてみると、卒業式まで45日、修了式まで47日でした。短い期間ですが1年間の締めくくりをすると同時に、新しい年度に向けて準備をする重要な時期でもあります。3年生は中学校生活のまとめをすると同時に、4月からの新しい生活に向けて準備をする大切な時期です。とても短い期間で、本当にあっという間に過ぎていきます。一日一日を大切に、充実させていきましょう。

■平成の時代がまもなく終わろうとしています。平成は科学技術の進展が目覚ましかった30年間でした。私たちの身の回りでも、携帯電話どころではなくスマートフォンが広く普及し、ワープロからパソコンへ、テレビも4K・8Kの時代となりました。自家用車も自動運転できる時代がすぐそこまで来ています。JR山手線では自動運転車両が開発され、すでに試運転が始まりました。AI技術が浸透し、生活様式も大きく変わろうとしています。生活が便利になり、楽になるのはありがたいことです。

平成の次の時代は人間がAI(人工知能)をどう活用していくか、人間とAIがどう共存していくかが大きな課題となるのではないのでしょうか。

AIが浸透していくと、私たち人間の考える力がどんどん衰えていく気がします。頭を使わないのはある意味で楽ですが、考える力は衰えていきます。科学技術の進展を享受しつつ、人間らしい暮らしとは何か考える、そんな時代になるのではないのでしょうか。

■2020東京オリンピック・パラリンピック開催が来年に迫りました。東京には世界中の様々な国や地域からたくさんの人たちが集まります。

東京2020大会のビジョンの一つに「多様性と調和」が掲げられています。「人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治、障害の有無など、あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合い、共生社会をはぐくむ契機となるような大会とする」という思いが込められています。

平成の次の新しい時代は「多様性と調和」、お互いの違いを認め合い、尊重していく態度がさらに求められるのではないのでしょうか。

今年は、新学習指導要領移行2年目を迎えます。変化の激しい時代にたくましく生きる子供たちを育てるために、「主体的・対話的で深い学び」を身に付けることが求められています。学校教育もますます多様化し、新しい教材・教具、指導法などが広まりつつあります。

新しい時代に生きる八中生に身に付けさせたい力を絶えず考えながら教育活動に取り組んでいきます。

◎生徒の活躍

■第10回中学生「東京駅伝」大会のお知らせ

2月3日(日)第10回中学生「東京駅伝」大会がアミノバイタルフィールド(味の素スタジアム内)・都立武蔵野の森公園 特設周回コースにて開催されます。都内各地区代表の2年生が晩冬の武蔵野を走ります。

目黒区代表チームも結成され、毎週土曜日に駒沢公園で練習に励んでいます。

八中からは男子1人、女子2人が参加します。

〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん

・女子の部スタート 午前10時

30km【第1区～第10区 1.5km】【第11区～第16区 2.5km】

・男子の部スタート 午後1時

42.195km【第1区 2.195km】【第2区～第9区 2km】【第10区～第17区 3km】

応援よろしくお願いいたします。

・第44回リバーサイドカップ 12/26

第3位 男子バスケットボール部

・2018TAMAアンサンブルフェスタ(多摩音楽振興会主催) 12/26

銀賞 金管五重奏 吹奏楽部

◎「オリンピック・パラリンピック教育講演会(人権講演会)」 12/13

マラソン伴走者 中田崇志さんを講師にお招きしパラリンピックや陸上競技についてお話をうかがいました。陸上競技の楽しさ、伴走者としてのやりがいや苦勞、視覚障害者への理解など、大切なことをたくさん教えてくださいました。今回は1年生の感想文を紹介します。

- ・今日、中田さんのお話を聞いてとくに印象に残ったことは、同じ目標をもつということです。選手と伴走者の目標が違っていると、なかなか上手くいかないということを知りました。私もバレエを習っているので、目標を立てて取り組んでいこうと思いました。また、速く走れる方法も教えてくださいました。速く走るためには姿勢を良くすることが大切だということを知りました。教えてもらったことを走るときに生かしたいと思います。
- ・視覚に障害をもっている方を道路などで見かけることがあります。目が見えなくて大変だろうなといつも感じますが、どのように声をかけて良いのか分からず、声をかけられませんでした。今日、中田さんが教えてくれたように、今度見かけたときは話しかけてみようと思います。今日の講演会でパラリンピックにとっても興味をもちました。来年の東京オリンピック・パラリンピックで積極的にボランティア活動に参加したいです。そしてたくさんの競技も見てみたいと思いました。今日学んだことを今後の学校生活に生かしていきたいです。
- ・今まで私は伴走者の役割は「隣で一緒に走るだけ」だと思っていたけれど、そうではなくペースの配分を考えたり、選手がプラス思考になって全力を出せるような声かけをしたりと大切な役割を果たしているのだと分かりました。とくにどのタイミングで声をかければ選手の気持ちが上がるのか考えていることや、声を大きくしてライバル選手にプレッシャーをかけているということを聞き、同じ声かけでも駆け引きなどがあり、すごいなと感じました。また、白杖を持っている人を見たとき、どのように助けてあげれば良いかも知ることができました。自分が当たり前に行っていることでも、目が見えにくい方から考えると分かりにくい表現だったりすることがあるので、相手の立場を考えて分かりやすく話すことが大切だなと思いました。